

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●伊藤大士調教師がJRA通算200勝を達成

8月4日(日)の1回札幌6日・第3レースではスプリングデイが1着となり、同馬を管理する伊藤大士調教師(美浦)は、現役108人目となるJRA通算200勝(述べ4280頭目)を達成しました。

●ジョッキーベイビーズ北海道地区と関東地区の代表が決定

全国ポニー競馬選手権[第14回ジョッキーベイビーズ]の北海道地区代表決定戦が、7月28日(日)、日高育成牧場にて実施され、大池由起菜さん(中学1年生/チェスナットファーム)が同地区代表に決定しました。また8月1日(木)にはJRA馬事公苑にて関東地区代表決定戦が実施され、井上里李紗さん(中学1年生/ニューオリニッククラブ宝馬乗馬学校)と須田希さん(小学6年生/ヨシザワライディングファーム)が同地区代表に決定しました。決勝大会は10月13日(日)に東京競馬場で開催される予定です。

●重賞ウイナー3頭が競走馬登録抹消

2021年朝日杯セントライト記念(GⅡ)の勝ち馬アサマノイタズラ(牡6歳/美浦・手塚貴久厩舎/JRA通算20戦2勝)、2020年フジテレビ賞スプリングS(GⅡ)の勝ち馬ガロアクリーク(牡7歳/美浦・上原博之厩舎/JRA通算15戦2勝)、2023年日刊スポーツ賞シンザン記念(GⅢ)の勝ち馬ライトクオンタム(牝4歳/栗東・武幸四郎厩舎/JRA通算8戦2勝)は、7月6日(土)までに競走馬登録を抹消されました。アサマノイタズラは中山競馬場、ガロアクリークは北海道浦河町の笠松牧場で乗馬、ライトクオンタムは北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤングジョッキーズシリーズ トライアルラウンドが門別で開幕

2024ヤングジョッキーズシリーズ トライアルラウンドは8月7日に門別で開幕、第1戦は長浜鴻緒騎手(美浦)、第2戦は木澤奨騎手(大井)が優勝しています。

●王冠賞(門別)は最低人気のブラセボ[各地の主要3歳重賞]

王冠賞(8月1日、門別、1800^円)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に立った7番人気のブラセボ(騾、父インカンテーション)が、一旦ブラックバトラーに交わされながらも直線で内から差し返し、初の重賞勝ちを果たしました。

●ドンフランキーが登場、8月12日のクラスターC(盛岡)

クラスターC(JpnⅢ、8月12日、盛岡、1200^円)は、前走ドバイゴールデンシャヒーン2着のドンフランキーが中心、以下ジレートル、コスタノヴァ、クロジシジョー、ケイアイドリーの順に有力視されます。

●8月15日の北海道スプリントC(門別)にエートラックスが参戦

今年から3歳馬限定戦に変更され、6月から移動となった北海道スプリントC(JpnⅢ、8月15日、門別、1200^円)は、兵庫チャンピオンシップの覇者エートラックスが最有力も、条件戦を3連勝中のエスカルも侮れず、ジョーローリット、チカッパ、トラジロウ(北海道)までが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1サセックスS~ノータブルスピーチが巻き返す

現地7月31日にイギリスのグッドウッド競馬場で行われたG1サセックスS(3歳上、芝1600^m)は、W.ビュイック騎手が手綱を取ったノータブルスピーチ(牡3歳、父ドバウイ、C.アップルビー厩舎)が5頭立ての3番手追走から直線で鋭く伸びて優勝しました。1馬身半差の2着に最後方から追い込んだ一昨年の独2000ギニー馬マルジューム。G1ドバイターフの勝ち馬ファクトゥールシュヴァルは3着でした。勝ったノータブルスピーチは今年1月のデビューから4連勝でG1英2000ギニー(芝1600^m)に優勝。続く前走のG1セントジェームズパレスSは英2000ギニーで2着に下したロサリオンの7着でしたが、ここで巻き返しました。

●G1ホイットニーS~アーサーズライドが逃げ切る

8月3日にアメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場で行われたG1ホイットニーS(4歳上、ダート1800^m)はJ.アルバラード騎手を背にしたアーサーズライド(牡4歳、父タピット、W.モット厩舎)が重馬場の中、2馬身1/4差の逃げ切り勝ちを収めました。G1ベガサスワールドC3着のクルービが追い込んで2着。昨年のG1ブリークネスS優勝馬ナショナルトレジャーは6着でした。勝ったアーサーズライドはこれが重賞初挑戦でのG1制覇。脚部不安で出世が遅れましたが、前走6月の一般戦(ダート2000^m)を12馬身3/4差で逃げ切って注目を集めていました。